

2. 現況および課題の把握

c. 災害時の交通規制・緊急輸送道路

【第一次交通規制】

道路交通法に基づき警視庁が実施し、人命救助、消火活動等に従事する緊急自動車等の円滑な通行を確保するための交通規制である。

- ・環状七号線から都心方向への車両は通行禁止となる。（環状七号線は迂回路として通行することが可能）
- ・環状八号線から都心方向への車両の通行は抑制される。
- ・下記の7路線が「緊急自動車専用路」となり、緊急自動車等以外の一般車両の通行が禁止される。

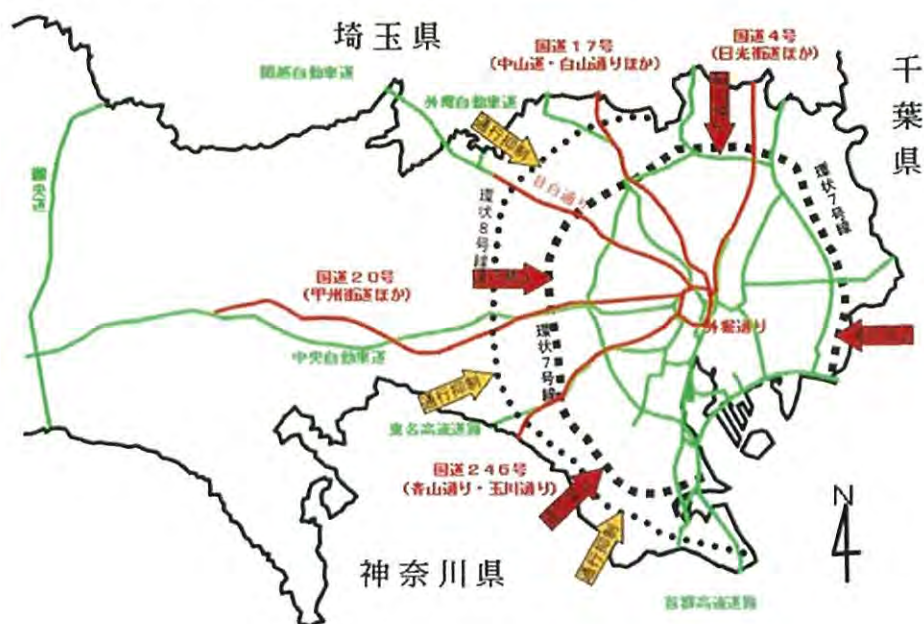
図表 52 第一次交通規制道路一覧³⁶

国 道	4号（日光街道ほか）	17号（中山道・白山通りほか）
	20号（甲州街道ほか）	246号（青山通り・玉川通り）
都 道	目白通り	外堀通り
高速道路	高速自動車国道・首都高速道路	

※ 高速自動車道と首都高速道路を合わせて1路線とする。

※ 被災状況によって、上記以外の路線を指定することがある。

図表 53 第一次交通規制（大震災発生直後から）³⁶



凡 例			
環状7号線	■ ■ ■ ■ ■	環状8号線	● ● ● ● ●
緊急自動車専用路	— (Red line)	国道4号・国道17号・国道20号・ 国道246号・目白通り・外堀通り	
	— (Green line)	高速自動車国道・首都高速道路	

【第二次交通規制】

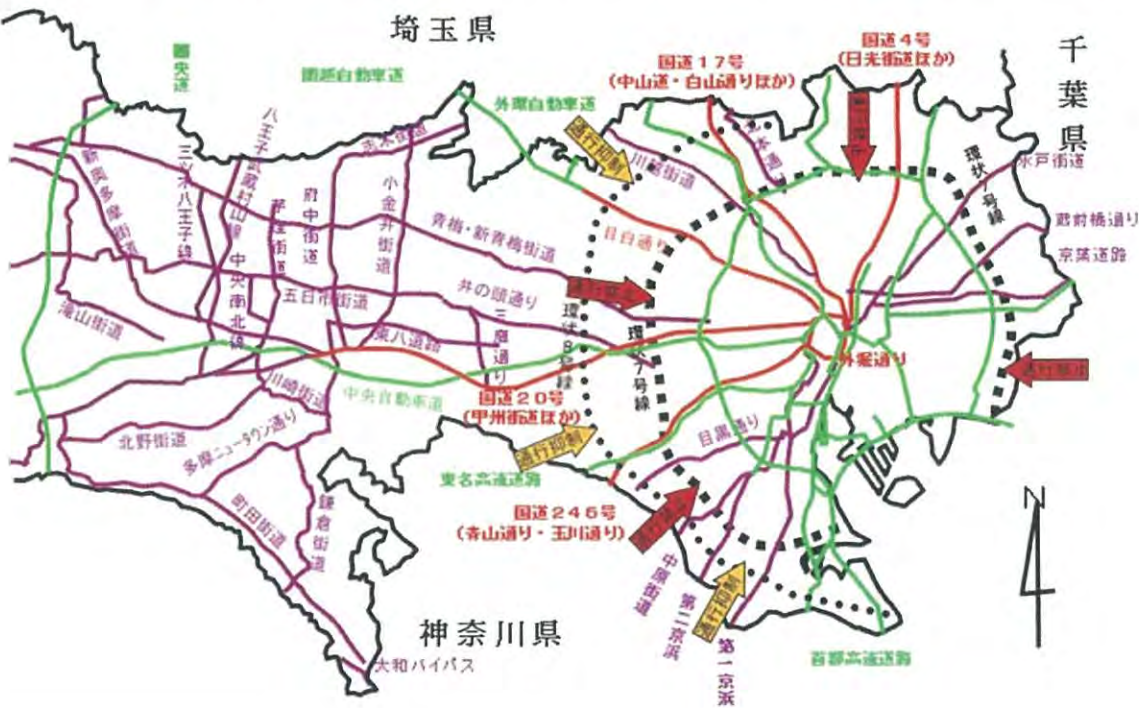
災害対策基本法に基づき警視庁が実施する交通規制で、災害応急対策に従事する緊急通行車両等の円滑な通行を確保するための交通規制である。

- ・ 下記の31路線のうち、被害状況、道路交通状況、災害応急対策の進捗状況等を勘案し、必要な路線を「緊急交通路」に指定する。
- ・ 品川区における緊急交通路は、第一京浜、第二京浜、中原街道、目黒通りの4路線となる。

図表 54 緊急交通路一覧

第一京浜	第二京浜	中原街道	目黒通り
青梅・新青梅街道	川越街道	北本通り	水戸街道
蔵前橋通り	京葉道路	井の頭通り	三鷹通り
東八道路	小金井街道	志木街道	府中街道
芋窪街道	五日市街道	中央南北線	八王子武蔵村山線
三ツ木八王子線	新奥多摩街道	小作北通り	吉野街道
滝山街道	北野街道	川崎街道	多摩ニュータウン通り
鎌倉街道	町田街道	大和ハイパス	

図表 55 第二次交通規制（被害状況および道路状況を勘案した上で実施）³⁶

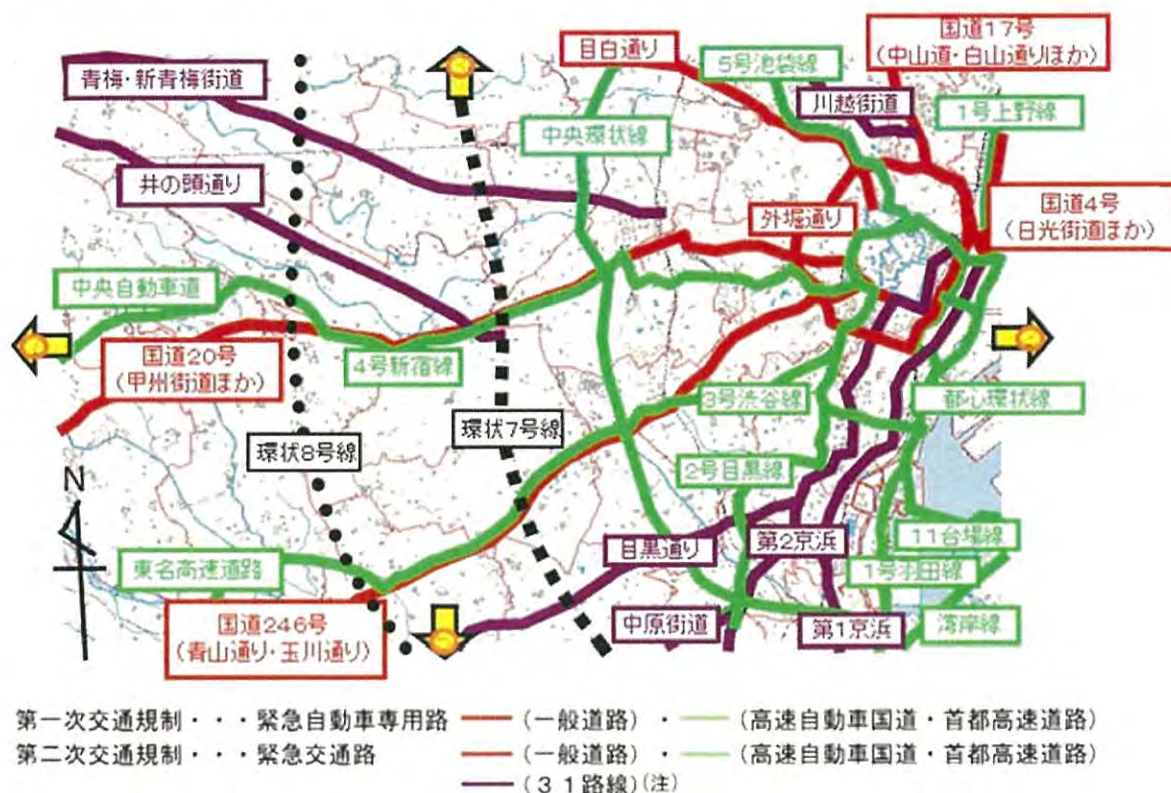


凡		例	
環状7号線	■■■■■	環状8号線	●●●●●
緊急交通路	■	優先して指定する路線 (国道4号・国道17号・国道20号・ 国道246号・目黒通り・外環通り)	
	■	優先して指定する路線 (高速自動車国道・首都高速道路)	
	■	被害状況により指定する路線	

2. 現況および課題の把握

大崎駅周辺地域における緊急自動車専用路および緊急交通路は、首都高速2号目黒線、第二京浜の2路線となっている。

図表 56 緊急自動車専用路・緊急交通路 詳細図³⁶



【緊急輸送道路】

緊急輸送道路とは、発災直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道およびこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点とを相互に連絡する道路をいう。

大崎駅周辺地域における緊急輸送道路、以下のとおりである。

- ・緊急輸送道路：主要地方道317号線、補助163号線
- ・特定緊急輸送道路：国道1号、中原街道
- ・大崎駅周辺では、五反田駅前を横断する国道1号（桜田通り、第二京浜）が特定緊急輸送道路、大崎駅前を横断する都道317号線（山手通り）と大崎駅南側の百反通りが緊急輸送道路に指定されている。
- ・緊急輸送道路は災害時に横断が制限されるため避難路設定にあたって注意が必要である。

2. 現況および課題の把握

d. 広域避難場所

【広域避難場所】

広域避難場所は、震災時に発生する延焼火災から身の安全を確保するために一時的に避難する場所で、東京都震災対策条例に基づき、東京都が指定する。広域避難場所はおおむね5年ごとに見直されており、およそ5ha以上の空地や耐火建物群、河川敷、グラウンド、学校、公園や緑地などのオープンスペース、また輻射熱の影響が少ない安全な所まで後退できる奥行きがある場所などを要件に選定されている³⁸。

品川区は10ヶ所が指定されている。このうち、大崎駅周辺地域の広域避難場所は、高輪三丁目・四丁目・御殿山地区、自然教育園・聖心女子学院一帯、JRアパート・品川区役所一帯、大井ふ頭一帯、戸越公園一帯、天王洲アイル周辺、大崎駅西口地区一帯である。

図表 58 大崎駅周辺地域の広域避難所³⁹

避難場所名称 (所在地)	区域面積/ 避難有効面積	地区割り当て		避難計 画人口	一人当り 避難有効 面積	最速 距離
		区町丁	町丁数			
高輪三丁目・四丁目・御殿山地区 (港区高輪、品川区北品川)	235,437㎡/ 110,924㎡	港区高輪1～4丁目、白金台2丁目 品川区北品川5～6丁目、4丁目の一部、東五反田1、3丁目の各一部	10	62,298 人	1.78 ㎡/人	1.4km
自然教育園・聖心女子学院一帯 (港区白金、白金台、品川区上大崎)	365,905㎡/ 182,103㎡	港区白金1～6丁目、白金台1、3～5丁目 品川区荏原1丁目の一部、上大崎1～4丁目、西五反田3、5、6丁目の各一部、東五反田4丁目、1、3、5丁目の各一部	21	70,533 人	2.58 ㎡/人	1.9km
JRアパート・品川区役所一帯 (品川区広町)	84,171㎡/ 42,336㎡	品川区大井1～3丁目、戸越1丁目、3丁目の一部、西品川3丁目、1～2丁目の各一部、広町2丁目、二葉1丁目、2丁目の一部	11	40,205 人	1.05 ㎡/人	1.2km
大井ふ頭一帯 (品川区八潮、大田区城南島、東海)	5,140,642㎡/ 2,340,599㎡	品川区北品川2丁目の一部、広町1丁目、南品川1～3、5～6丁目、4丁目の一部	8	21,418 人	109.28 ㎡/人	1.9km
戸越公園一帯 (品川区豊町)	62,691㎡/ 18,492㎡	品川区戸越2、4丁目、3、5丁目の各一部、西品川1～2丁目の各一部、豊町1～3丁目	9	16,600 人	1.11 ㎡/人	0.5km
天王洲アイランド周辺 (品川区東品川)	227,484㎡/ 123,268㎡	品川区東品川1丁目、南品川4丁目の一部、北品川1、3丁目、2、4丁目の各一部	6	23,526 人	5.24 ㎡/人	1.2km
大崎駅西口地区一帯 (品川区大崎)	58,978㎡/ 26,302㎡	品川区大崎2～3丁目、4丁目的一部分	3	16,283 人	1.62 ㎡/人	0.7km

2. 現況および課題の把握

【地区内残留地区】

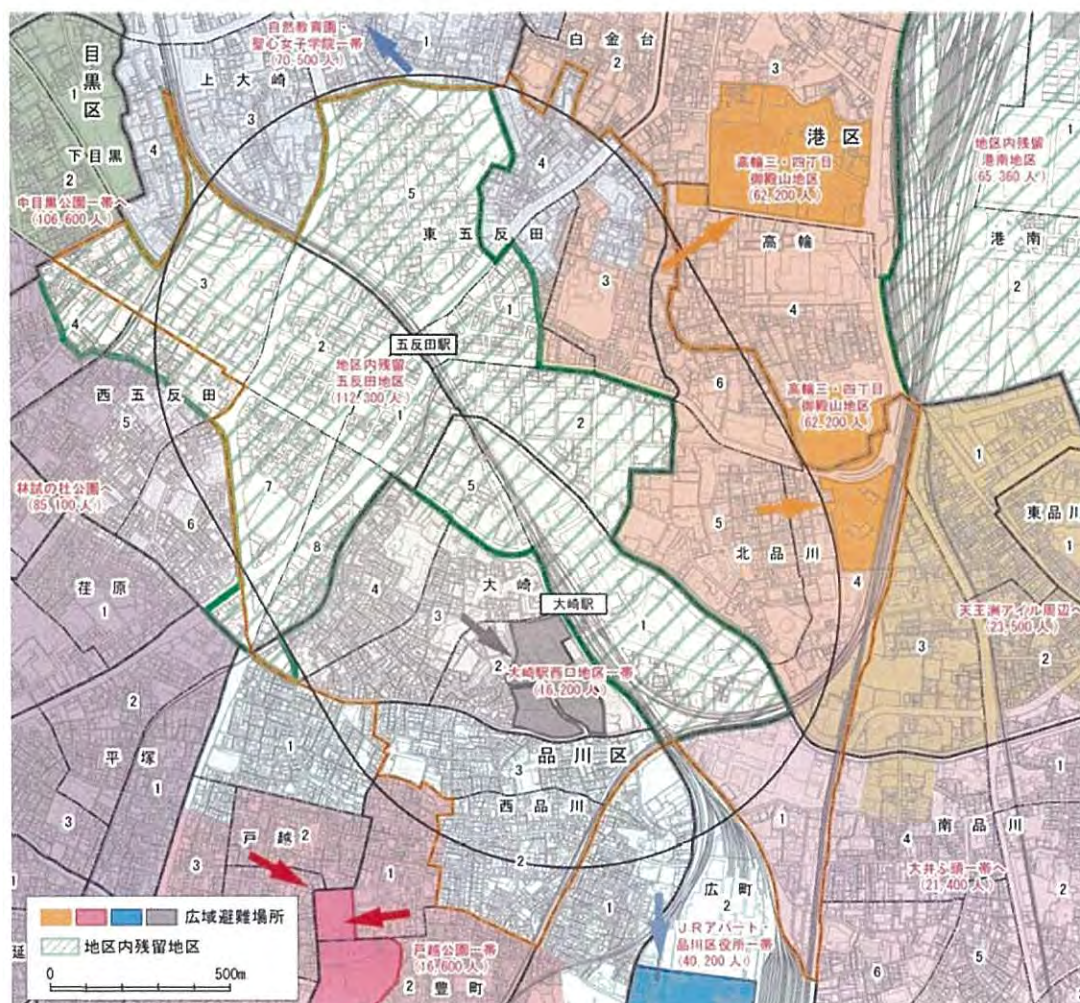
地区の不燃化が進んでおり、万が一火災が発生しても、地区内に大規模な延焼火災のおそれがなく、広域的な避難を要しない区域として、地区内残留地区が定められている。

品川区の地区内残留地区は、5地区が指定されている。大崎駅周辺では、五反田地区が定められている。

図表 59 大崎駅周辺の地区内残留地区⁴⁰

地区名	区名	所在地	面積	地区内退避人口
五反田地区	品川区	大崎1, 5丁目、4丁目の一部、西五反田1～2丁目、7～8丁目、3～6丁目の各一部、東五反田2, 5丁目、1丁目の一部	131ha	112,386人

図表 60 広域避難場所、地区内残留地区¹



- ・五反田駅周辺や大崎駅の東側は、地区内残留地区に指定されており、万一火災が発生した場合も広域的な避難を必要としない区域となっている。
- ・今回の対象区域の縁辺部にあたる広町1丁目や東五反田4丁目などは、指定されている広域避難場所までかなり距離がある状況である。
- ・大崎2～4丁目の広域避難場所には、大崎駅西口地区一帯が指定されており、周辺住宅地から駅の方角へ避難者が集中することになるため、駅周辺の混乱回避や安全な避難に向けた対策が必要と考えられる。

e. 公園、広場等

【防災機能を有する公園、広場】

品川区では、震災時における地域の防災活動拠点として、平常時には防災訓練の場、区民の憩いの場、子どもの遊び場となる38ヶ所（平成28年4月1日現在）の防災活動広場の整備を行ってきた。

これら防災活動広場に加え、公園等にも可能な限り防災設備を設けている。

貯水槽や防災無線スピーカーが設置された、防災機能を有する公園は大崎駅周辺地域内に5ヶ所立地している。防災活動広場は立地していない。

図表 61 大崎駅周辺地域の公園、広場（40t以上の貯水槽を設置）⁴¹

広場名	所在地	面積	貯水槽	施設整備
西八丁公園	西五反田8丁目11-4	521.78㎡	100㎡	固定系無線屋外スピーカー
大崎五丁目遊園	大崎5丁目2-2	1,708㎡	100㎡	
大崎5丁目児童遊園	大崎5丁目8-5	97㎡	100㎡	
鎗ヶ崎公園	西品川3丁目12-2	360.58㎡	40㎡	
西品川おさんぽ公園	西品川3丁目9-24	606.81㎡	40㎡	

2. 現況および課題の把握

【その他公園】

特に防災機能は整備されていないものの、発災直後に避難が可能と考えられる公園は、以下のとおりである。

図表 62 その他公園⁴²

公園名	所在地	面積	備考
五反田南公園	東五反田2丁目1-14	519㎡	目黒川沿いの低地にある公園で、幼児向け遊具と休養施設が置かれている。
五反田ふれあい・水辺広場	東五反田2丁目9-11	3,441㎡	再開発事業により整備された親水広場型の児童遊園。
御成橋公園	東五反田2丁目15-20	1,559㎡	目黒川に架かる御成橋の脇にある遊戯・休憩型の公園。
池田山公園	東五反田5丁目4-35	7,022㎡	旧岡山池田藩下屋敷跡を整備した鑑賞型公園。高低差を生かした池泉回遊式。
ねむの木庭	東五反田5丁目19-5	580㎡	旧正田邸の跡地に整備した公園。
五反田児童遊園	東五反田5丁目21-10	157㎡	首都高速道路2号線高架下の道路に面した小さな児童遊園。坂道に面しているため園内は二段に分かれている。
五反田公園	東五反田5丁目24-6 東五反田5丁目25-27	965㎡	一般的な遊具中心の公園で、坂道をはさんで二段に分かれている。
大崎橋広場	西五反田1丁目10-2	751㎡	目黒川沿いにある細長い広場で歩道と一体的に整備されている。
谷山公園	西五反田3丁目6-15	1,301㎡	西五反田三丁目地区計画に基づき整備された公園。民間開発で提供された公園と一体的に整備されている。
大崎光の滝公園	大崎1丁目1-2	1,001㎡	大崎駅東口第3地区の再開発事業により整備された公園。
大崎川の辺緑地	大崎1丁目5-1	388㎡	民間のビル建設に伴い提供された細長い小緑地。
居木橋公園	大崎1丁目14-4	1,400㎡	大崎駅東口第二地区再開発事業により提供された公園。

(次頁に続く)

2. 現況および課題の把握

(前頁の続き)

公園名	所在地	面積	備考
ひふみ公園	大崎2丁目2-11	691㎡	大崎駅西口地区の地区計画により整備された公園。
大崎西口公園	大崎2丁目10-14	1,560㎡	開発行為により整備され、大崎駅のペDESTリアンデッキに繋がる、ステージとして活用できる階段を有する公園。
峰原公園	大崎3丁目17-27	622㎡	峰原坂の上にある遊具主体の公園
大崎公園	大崎5丁目5-17	1,171㎡	防災行政無線固定系あり。 山手通りの近くにある公園。
広町公園	広町1丁目3-30	170㎡	広町一丁目工場アパート群の最奥部にある小公園。
三ツ木公園	西品川2丁目6-11	490㎡	三ツ木通り商店街の中にある公園
三ツ木児童遊園	西品川2丁目9-18	180㎡	平和坂の途中にある遊戯型の児童遊園
そよかぜ公園	西品川2丁目17-8	748㎡	区役所の北西に位置する遊戯型の公園
百反坂下児童遊園	西品川3丁目20-22	201㎡	百反坂の途中から少し奥まったところにある小さな児童遊園。
小関公園	北品川5丁目8-21	1,134㎡	居木橋の北西にある公園。表通りから細い園路を通って入る園内は、多目的広場と遊戯ゾーンからなり、隣接する民間住宅内公園や目黒川緑道とつながっている。
北品川五丁目地区公園	北品川5丁目3～7	1,085㎡	再開発事業による提供公園。
御殿山の丘公園	北品川6丁目6-32	869㎡	開発行為によりソニー本社跡地に整備された広場型公園。

2. 現況および課題の把握

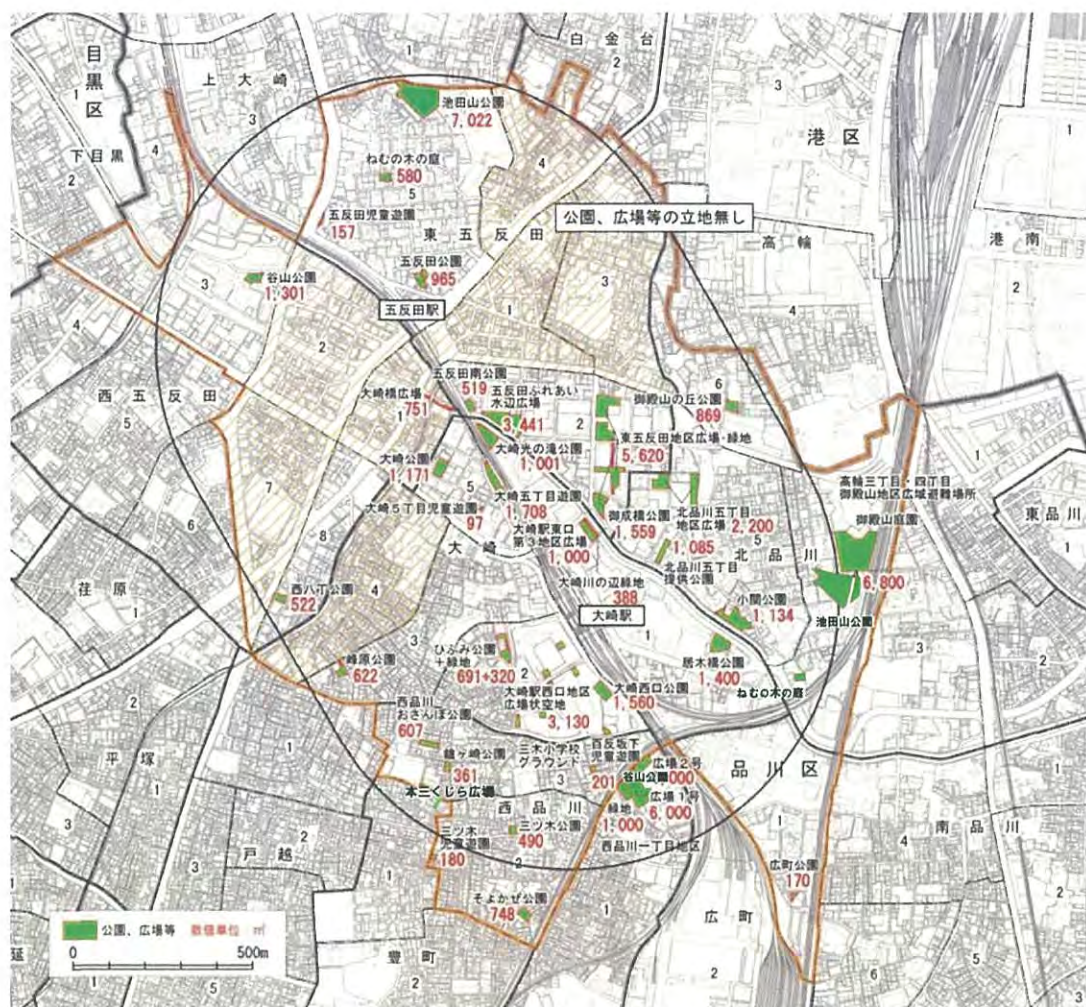
【その他広場】

発災直後に滞留者の滞留が可能と考えられる駅前広場やデッキ等の広場空間は、以下のとおりである。

図表 63 その他広場⁴³

施設名	所在地	種別	面積	備考
五反田駅東口駅前広場	東五反田1丁目1		約2,500㎡	
五反田駅西口駅前広場			約1,000㎡	
東五反田二丁目地区地区計画	東五反田1、2丁目	親水広場	約3,400㎡	※五反田ふれあい水辺広場
東五反田地区地区計画 (東五反田二丁目第1地区市街地再開発事業)	東五反田2丁目16、17	広場1号	約2,500㎡	緑地は御成橋公園と一体。
		広場2号	約1,000㎡	
		広場3号	約1,600㎡	
		緑地	約520㎡	
大崎駅東口第2地区地区計画	大崎1丁目	地区公園	約1,400㎡	※居木橋公園
大崎駅東口第3地区地区計画	大崎1丁目	緑地	約1,000㎡	※大崎光の滝公園
		広場	約1,000㎡	大崎センタービル
大崎駅西口地区地区計画 (ウエストシティビル、Think Park、NBF大崎ビル)	大崎2丁目	公園1号	約690㎡	※ひふみ公園
		緑地	約320㎡	ひふみ公園と一体
		広場状空地1号	約550㎡	ウエストシティビル
		広場状空地2号	約500㎡	Think Park
		広場状空地3号	約540㎡	NBF大崎ビル (ノニ)
		広場状空地4号	約450㎡	Think Park
		広場状空地5号	約320㎡	ウエストシティビル
		広場状空地6号	約470㎡	NBF大崎ビル (ノニ)
		広場状空地7号	約300㎡	
大崎駅西口駅前広場	大崎2丁目		約1,000㎡	
大崎駅西口バスターミナル	大崎2丁目10-10		約1,392㎡	有効面積は左記の約50%、700㎡とする。
北品川五丁目地区地区計画 (北品川五丁目第1地区第一種市街地再開発事業)	北品川5丁目5、7	公園1号	約1,085㎡	2015年5月竣工。
		広場1号	約1,100㎡	
		広場2号	約1,100㎡	
【対象地域外】 西品川一丁目地区地区計画 (西品川一丁目地区市街地再開発事業)	西品川1丁目1、2	広場1号	約6,000㎡	施工中。 2017年竣工予定。
		広場2号	約1,000㎡	
		緑地	約1,000㎡	

図表 64 公園、広場等^{1, 44}



- ・東五反田 1、3、4 丁目、西五反田 1、2、7 丁目、大崎 4 丁目には公園が 1ヶ所も立地していないため、一時退避場所への適切な誘導が必要である。
- ・大崎駅周辺では大規模開発に伴い公園や広場が整備されており、今後も開発に合わせた整備を適切に行っていくことが必要である。

2. 現況および課題の把握

f. 避難所等

【避難所】

家屋の倒壊や焼失等により生活が困難となった場合に一時的に避難生活を送る場所である。

品川区地域防災計画では、想定避難所生活者数119,932人に対し、区全体の避難所の収容人員を120,000人と計画している⁴⁵。また、一般の避難者との避難生活を送ることが困難な寝たきりの高齢者や障害者等を保護するための施設として、二次避難所や福祉避難所を指定している。

なお、避難所は原則区民の利用を想定しており、滞在者や帰宅困難者の利用は想定されていない。

図表 65 大崎駅周辺の避難所⁴⁶、二次避難所⁴⁷

避難所名	所在地	構造	収容人員	主な補完避難所
日野学園	東五反田2丁目11-1	鉄筋	3,407人	清泉女子大
芳水小学校	大崎3丁目12-22	鉄筋	987人	立正大学
大崎中学校	西品川3丁目10-6	鉄筋	965人	立正大学
三木小学校	西品川3丁目16-28	鉄筋	1,441人	立正大学
御殿山小学校	北品川5丁目2-6	鉄筋	671人	総合体育館
(二次) 五反田シルバーセンター	東五反田2丁目15-6	鉄筋	44人	—
(二次) 西五反田シルバーセンター	西五反田3丁目9-10	鉄筋	96人	—
(二次) 大崎シルバーセンター	大崎2丁目7-13	鉄骨	83人	—

【医療施設】

災害時における医療救護活動の拠点となる医療機関を災害拠点病院という。区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

大崎駅周辺地域では、東五反田5丁目のNTT東日本関東病院が、災害拠点病院に位置付けられている。品川区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

図表 66 災害拠点病院（平成24年4月1日現在）⁴⁸

位置づけ	施設名	所在地	病床数
災害拠点病院	昭和大学病院	旗の台1丁目5 - 8	853床
災害拠点病院	NTT東日本関東病院	東五反田5丁目9 - 2 2	665床

その他、大崎駅周辺地域に立地する医療機関で、東京都防災マップに記載されているものは、以下のとおりである。

図表 67 大崎駅周辺地域のその他医療機関⁴⁹

位置づけ	施設名	所在地	病床数
—	医療法人社団有仁会 阿部病院	品川区東五反田1丁目6 - 8	84床
—	大崎病院 東京ハートセンター	品川区北品川5丁目4 - 1 2	100床

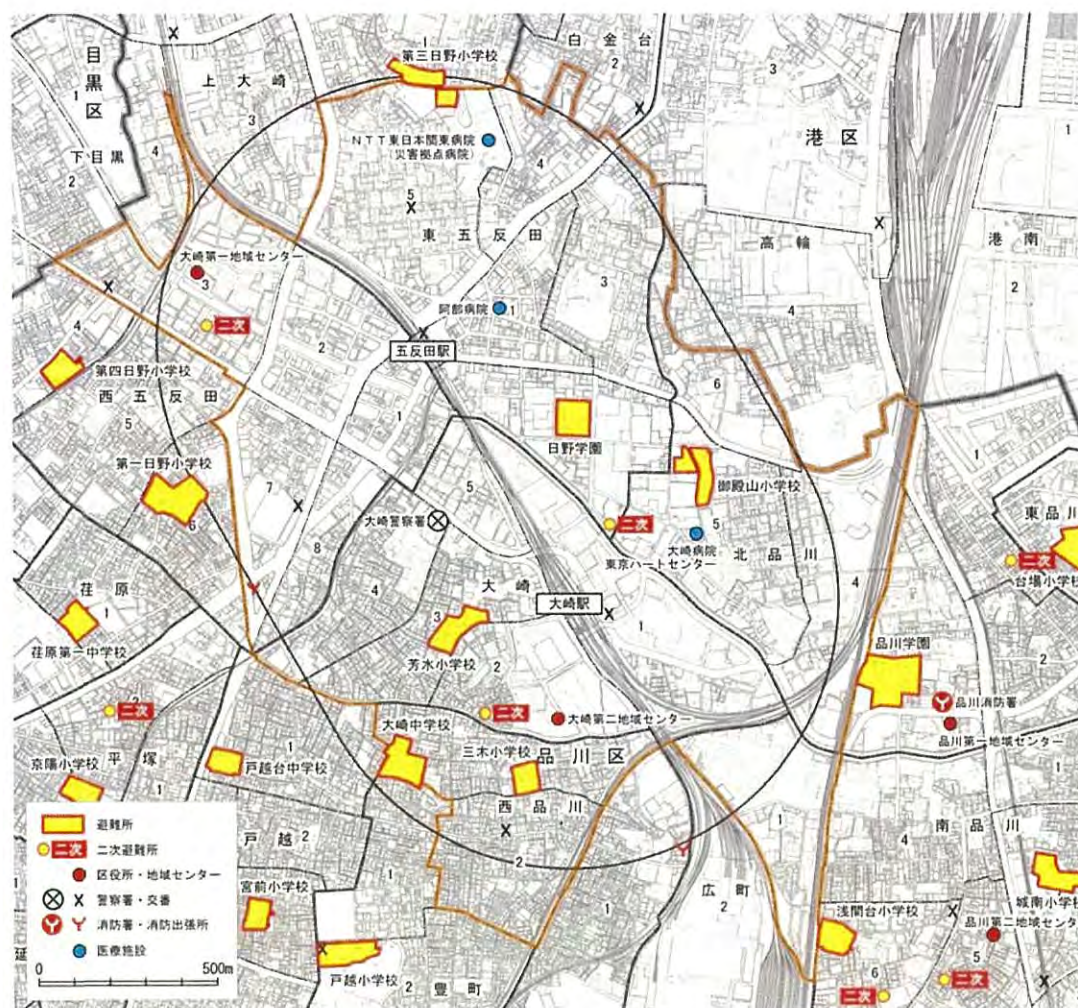
各地域センター管轄区域内の避難所（区立小中学校）のうち1ヶ所を医療救護所として指定しており、大崎・五反田駅周辺地域では、大崎第二地区に立地する三木小学校が該当する

図表 68 医療救護所一覧⁵⁰

管轄区域	施設名	所在地
品川第一地区	品川学園	品川区北品川3丁目9 - 3 0
品川第二地区	城南小学校	品川区南品川2丁目8 - 2 1
大崎第一地区	第一日野小学校	品川区西五反田6丁目5 - 3 2
大崎第二地区	三木小学校	品川区西品川3丁目1 6 - 2 8

2. 現況および課題の把握

図表 69 避難所、医療施設等¹



【津波避難施設】

津波避難施設とは、気象庁から東京湾内湾に「津波警報」「大津波警報」が発表された場合、その警報が解除されるまでの間、地域住民等が一時もしくは緊急避難する建物のことである。

大崎駅周辺地域における津波避難施設は、日野学園が該当する。

図表 70 津波避難施設（区有施設）一覧（平成27年3月現在）⁵¹

施設名	所在地	条件
日野学園	東五反田2丁目11-1	
品川図書館	北品川2丁目32-3	開館時間内
北品川児童センター	北品川2丁目7-21	開館時間内
品川学園	北品川3丁目9-30	
品川健康センター	北品川3丁目11-22	開館時間内
北品川職員待機寮	北品川3丁目11-17	
台場小学校	東品川1丁目8-30	
城南小学校	南品川2丁目8-21	

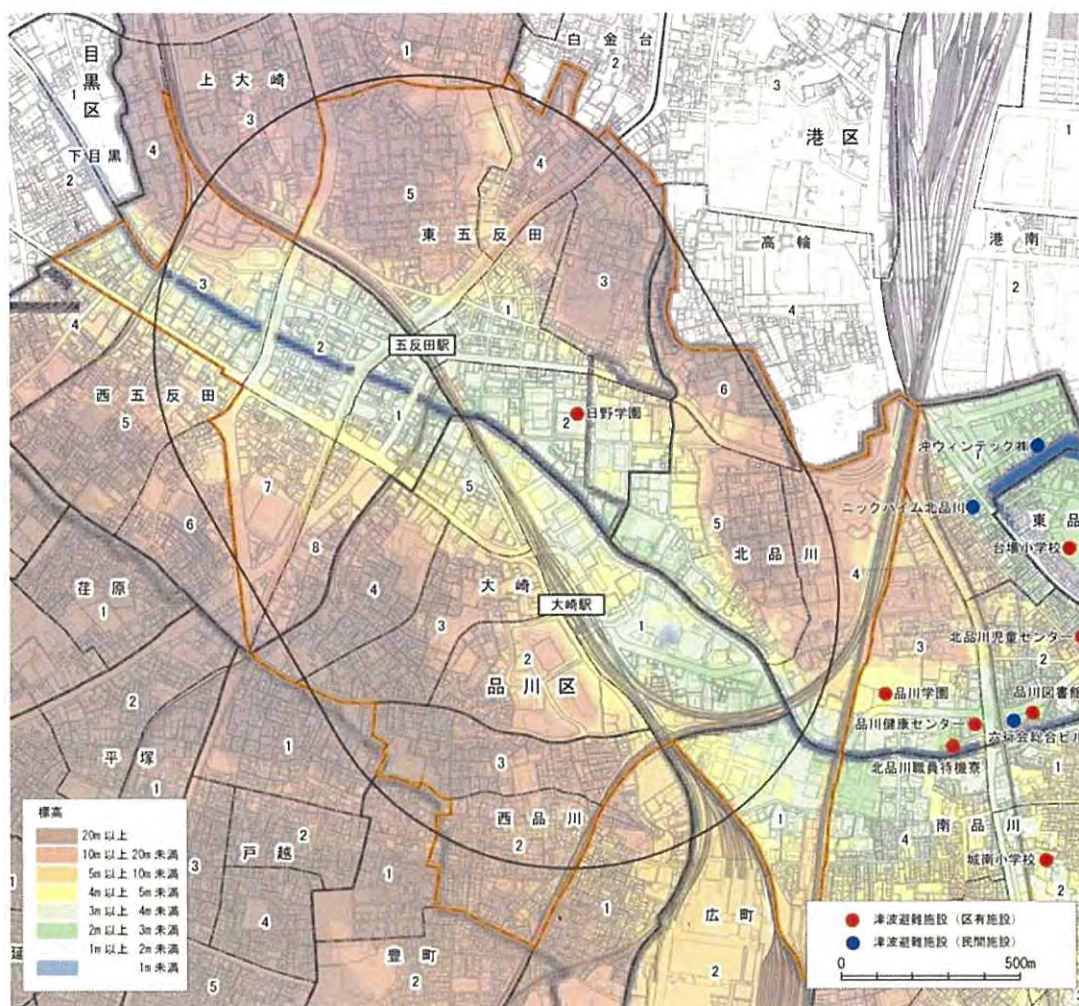
区と津波避難施設協定を締結している民間施設は、以下のとおりである。

図表 71 津波避難施設（民間施設）一覧（平成27年3月現在）⁵¹

施設名	所在地	一時待機場所	条件
沖ウィンテック㈱	北品川1丁目19-4	6階 会議室	日・祝を除く、 平日9時～17時
ニックハイム北品川	北品川1丁目22-17	3～6階 開放廊下	
六行会総合ビル	北品川2丁目32-3	8階 荏川倶楽部ラウンジ	業務時間内(品川図書館の補完施設として)

2. 現況および課題の把握

図表 72 大崎駅周辺の津波避難施設^{1, 52}



- ・大崎駅周辺地域は、海からの距離があり、目黒川周辺を除いては標高が高いため、津波の被害を直接受ける可能性は少ないと考えられる。
- ・大雨時等には、目黒川の水害に注意が必要である。

g. 一時滞在施設

【東京都指定の一時滞在施設】

駅周辺の滞留者や路上等の屋外で被災した外出者などの帰宅困難者を一時的に受け入れるための施設である。

一時滞在施設の確保および運営については、ガイドラインが示されており、指定を受けた施設は、新耐震基準を満たす施設であって床面積3.3㎡につき2人の収容を目安として、発災後3日間程度の運営を続けるなどの役割が定められている。

大崎駅周辺地域の最寄りの一時滞在施設は、大崎高等学校であるが、駅から半径750m圏外である。

図表 73 品川区内の都立一時滞在施設（平成26年12月現在）⁵³

施設名	住所
東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス	品川区東大井1丁目10-40
城南職業能力開発センター	品川区東品川3丁目31-16
大井ふ頭中央海浜公園（スポーツセンター）	品川区八潮4丁目1-19 品川区八潮4丁目2-1
小山台高等学校	品川区小山3丁目3-32
大崎高等学校	品川区豊町2丁目1-7

2. 現況および課題の把握

図表 74 大崎駅周辺の一時滞在施設¹

